

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

年 月 日 書記官長

議長宛

明治四十四年四月二十八日

書記官長



主筆

書記官

書記官



日英通商航海條約御批准ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ日英通商航海條約御批准ノ件

ヲ審査スルニ<sup>本條ハ</sup>昨年七月ヲ以テ帝國政府ヨリ廢棄ヲ

通告シタル現行ノ日英通商航海條約ニ代ラシムルカ

去ル四月三日ヲ以テ

為シ兩國全權委員トキ四月三日ヲ以テ本條約草案ヲ

高議調印シタルモノニシテ之ヲ現行ノ條約ト對比シ西

者相違ノ主ナル矣ヲ擧レハ(一)現行條約ニ於テハ帝國政

府ハ英國品ニ對シ最惠國待遇ヲ保障スルノ外一定ノ

英國品ニ付税率ヲ協定シタルニ反シ英國政府ハ單ニ

本邦品ニ對シ最惠國待遇ヲ保障スルノ外條約上何等

稅權ヲ齎束セラルルコトナク之カ為メ本邦ハ片務的ニ一

定ノ義務ヲ負擔スルモ<sup>スルモ</sup>新條約ニ於テハ相互ニ輸入稅

ニ付

ニ關シ最惠國待遇ヲ保障スルト共ニ又相互ニ税率

ヲ協定シ帝國政府カ一定ノ英國品ニ對シ税率ヲ協

定スルト同時ニ英國政府モ亦一定ノ本邦品ニ對シ其ノ無稅  
制ヲ繼續ス(キ)トテ約定シ關稅ニ付彼我兩國相互ニ義  
務ヲ負擔スルコトトシ且現行條約ニ於テ英國品ノ為設  
ケタル協定稅率ハ三十九日ニ涉リ其ノ種類甚多キモ新  
條約ニ於テハ其種目ヲ減シテ五トナシ其ノ稅率モ二三

現行稅率

ヲ除クノ外總テ高率ヲ課スルコトトシ而シテ其ノ協定稅率ハ  
本條約ノ存續期間内タリトモ相互ニ修正又ハ廢棄ヲ申出シ  
得ルノ餘地ヲ存セルコトトシ現行條約ニ於テハ土地所有權ニ  
關シ何等規定スル所ナキモ新條約ニ於テハ一般ニ不動産  
ノ取得ニ關シ自國法律ノ範圍内ニ於テ互ニ最惠國待

相互ノ條件ニ依リ

過ヲ許スヘキコトヲ保障セルコト又(三)現行條約ハ沿岸貿易ニ関シ若干ノ本邦開港場間ニ英國船舶ノ貨物運搬ニ從事スルコトヲ許可シタルモ新條約ニ於テハ之ヲ削除シ内國法ノ規定ニ一任シテ唯最惠國待遇ヲ保障スルニ止マレルコト(四)永代借地權ニ關シテハ他日別ニ商議スル爲メ本條約中ヨリ

其ノ規定ヲ削除シ別段ノ約定ヲナスマテハ現在ノ儘何等影響ヲ受クルモノニ非ルコトヲ別ニ聲明スルコト(五)商事会社ノ互認、旅商ノ便宜、國境貿易及漁業ニ關スル除外例等ニ付新規定ヲ置キ以テ相互ノ便益ヲ相  
リタルコトヲ示サリトス

而シテ新條約ニ於テ協定シタル税率ノ種目ハペイント、亞麻  
織物、綿織物、毛又ハ毛綿織物及鐵ノ五種ニシテ之等協  
定品ハ主トシテ英國ヨリ輸入セラルルモノナリ最近ノ統  
計ニ依レハ同種品ニ付各國ヨリ我國ニ輸入スル金額ニ付  
シ英國品ハ六割四分乃至九割七分ヲ占メ英國以

外ノ國ヨリ輸入スルモノ極テ少量ナルニ依リ他國カ本協定  
ニ基キ均沾シ得ルノ利益甚少キニ從テ我國ノ不利ヲ蒙ル  
コト從テ多カラスト謂フ又本協定品ハ孰レモ英國ヨリ我國  
ニ輸入スル物品中主要ナルモノニ屬シ統計ニ依レハ右各品  
ノ輸入總額ハ一箇年三千百三十余萬圓ニシテ實ク英

國ヨリノ輸入總額ニ對シ三割一分ヲ占ム  
謂ハ次ニ英國カ  
我國ニ無稅輸入ヲ許セル物品ハ孰レモ我國ノ特産物ト稱  
スキ羽二重、銅、麥稈、真田、樟腦、竹籠、漆器（釋ノ）  
種ニシテ一箇年凡千八百五十萬円ノ輸出アリ本邦ヨリ英  
國ノ輸出總額ニ對シ五割九分ヲ占ムト謂フ

要スルニ本邦輸入品ニ對シ關稅定率法ノ所定以外ニ特ニ協  
定稅率ヲ設ケタルハ實ニ事情已ヲ得サルノ措置ナル（シ  
ト當本條約ハ能ク其ノ種目ヲ制限シ條約上相互對  
等ノ主義ヲ保テ且兩國間ノ通商航海上ノ關係ヲ明確  
ニシ在来ニ比シ其ノ利便ヲ増進セルトスルモノナルヲ認ムル

ニ依リ此際之ヲ可決セラレ然ルニト恩料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

年月日 書記官長

議長 宛

明治四十四年四月二十九日

主筆書記官

書記官長



書記官



關東都督府職員特別任用令中

改正ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ關東都督府職員特別任用令中改

正ノ件ヲ審査スルニ徒未關東都督府・通信事務官